

# ふかまちのまど

第五七号 二四年二月一日  
発行元 深町連合町内会  
連絡先 六六三・三五二

TBG協会だより



三原市・月例  
ターゲット・バード  
ゴルフ大会



三原市TBG月例会大会が、1月20日(土)に16名の参加で深町・城山コースにて行われました。

成績は、次の通りです。

- 1位 田中 好康
- 2位 三崎 卓夫
- 3位 谷岡 義昭
- ベスグロ71 三崎 卓夫
- 2人組戦1位 笠井 隆三
- (組合せ上、一名にてプレイ)

※選手の敬称略

次回の月例会大会は、2月17日(土)に、行います。

TBG協会

事務局 山内 好己

ソシンロウバイ



深町子どもを守る会

子どもをみんなで見守りまじょう。

深小の子供は



- 午後4時前に下校します。下校時間は日によって異なります。
- 近くで、遠くで、みんなで見守りまじょう。
- あいさつ
- 声かけをしまじょう。

サロン深つかふかだより

協力者一同

寒い季節は、体が力が入り、出掛けるのが億劫になったりしがちですが、サロン深つかふかでは、体も頭も動かし、たくさん笑って過ごす時間になっています。年末最後のサロンでは、いきいき体操の後、みんなでおやつをいただき、アメとりじゃんけんゲームでは緊張と笑いで楽しい忘年会になりました。

「知りたかったことを教えてもらえた」と、毎回好評の松尾さんのミニ講座は、今月は7日です。今回は「施設編」。高齢者施設って、どんな種類があるの？それぞれどんな特徴があるの？など、気になっっている方は、ぜひご参加ください。ずっと元気でいられるように体操などを頑張りつつ、不安なことにも、みんなと一緒に向き合っていきたいと思えます。

2月の予定

- 水曜日 10時～11時30分
- ・7日(介護保険ミニ講座)
- ・14日(茶話会・歌)
- ・21日・28日
- ★毎回最初の30分は「いきいき体操」です。

持つてくるもの

- ・飲み物・室内シューズ
- ・長いタオル(体操に使います)

◆インスタグラムで活動の様子を発信しています。

[https://www.instagram.com/fukama\\_chi.ochanomai/](https://www.instagram.com/fukama_chi.ochanomai/)

問い合わせ先(安藤)

090-5265-3855



カンアヤメ



岡本様 優勝おめでとう！

深町連合町内会

会長 安藤 志保

中組峠講の岡本美羽様が、令和5年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に出場し、空手道女子個人組手で優勝の栄冠に輝かれました。

連合町内会よりお祝い致しますとともに、益々のご活躍を祈念申し上げます。

※町内で、全国大会出場や受賞等の情報がありましたら、連合町内会へお知らせください。

歩く会にご参加を

歩く会幹事

石井 堂熙

二月の歩く会は  
休ませていただきます。



三月予定は未定です(1月27日現在)



ごみのポイ捨てはだめ

わがまちをゴミのない

きれいなまちに



犬のフンは

飼いが

責任を持って持ち帰りましょう！

謹んでお悔やみ申し上げます

平岡 トキ子 様 九十六歳  
(中組 土居講) 十二月三十一日  
天木 美枝子 様 九十四歳  
(上組 清国講) 一月十七日

深町各種団体二月行事予定

◆連合町内会 18日  
▼河川清掃

◆小学校

▼入学説明会 2日  
▼委員会活動 5日  
▼二中学説明会 6日  
▼学校保健委員会 7日  
▼PTA役員会 9日  
▼ネットモラル講演会 13日  
▼スクールカウンセラー 16日  
▼深の子をはぐくむ会 19日  
▼参観日・学級懇談会 29日

◆如水館中学・高校

▼身だしなみチェック 5/9日  
▼共通テスト模試(高2) 5日  
▼各委員会(中) 7日  
▼漢字検定 9日  
▼進級説明会(中) 14日  
▼進路ガイダンス(高) 19日  
▼学年朝会(高2) 20日  
▼学年朝会(高1) 21日  
▼人権教育講演会(高2) 29日  
▼卒業式予行演習(午前) 賞状授与式(午後)

ウイキペディアより

初詣

初詣・初詣で(はつもうで)とは、年が明けてから初めて神社や寺院などに参拝する行事。一年の感謝を捧げたり、新年の無事と平安を祈願したりする。初参・初参り(はつまいり)ともいう。参拝者数はメッカの大巡礼を越す世界最大級の宗教行事。

歴史  
元々は「年籠り」としこもり、としごもり)と言い、家長が祈願のために大晦日の夜から元日の朝にかけて氏神社に籠る習慣であった。やがて年籠りは、大晦日の夜の「除夜詣」と元日の朝の「元日詣」との2つに分かれ、元日詣が今の初詣の原形となった。治承5年に源頼朝が鶴岡若宮に参詣したことが初詣が広まるきっかけになったとの指摘もある。

江戸時代末期までの元日の神社参拝としては、氏神社に参詣したり居住地から見て恵方にあたる社寺に参詣(恵方詣り【えほうまいり】)したりといったことが行われた。

「年籠り」形式を踏まず、単に社寺に「元日詣」を行うだけの初詣が習慣化したのはそれほど古い時代で

は、なく明治中期のことで当時の鉄道会社が神社とキャンペーンをして遠方の有名神社へ初詣する風習を作り出したとされている。また、氏神や恵方とは関係なく、有名な社寺に参詣することが一般的になった。俳句で「初詣」が季語として歳時記に採用されたのは明治末期であり、実際に「初詣」を詠んだ俳句が登場するのは大正時代以降であるという。また現在でも、除夜に一度氏神に参拝して一旦家に帰り、元旦になって再び参拝するという地方がある。これを二年参りという。

### 近代以後の変容：恵方詣りから初詣へ

江戸時代までは元日の恵方詣りのほか、正月月末にかけて信仰対象の初縁日（初卯・初巳・初大師など）に参詣することも盛んであった。研究者の平山昇は、恵方・縁日にこだわらない新しい正月参詣の形である「初詣」が、鉄道の発展と関わりながら明治時代中期に成立したとしている。

関東では1872年（明治5年）の東海道線開通により、従来から信仰のあった川崎大師などへのアクセスが容易になった。それまでの東京（江戸）市民の正月参詣は市内に限られていたが、郊外の有名社寺が正月の恵方詣りの対象とみなされるようになった。また、郊外への正月参詣は行楽も兼ねて行われた。平山によれば「初詣」という言葉は、それまでの恵方詣りとも縁日（21日の初大師）とも関係のない川崎大師への正月参詣を指すのに登場したといいい、1885年（明治18年）の『万朝報』記事を初出と紹介している。鉄道網の発達に伴い、郊外・遠方の社寺にもアクセスは容易になり、また、京成電気軌道や成田鉄道（成田山新勝寺）、京浜電気鉄道（川崎大師・穴守稲荷神社）など、参拝客輸送を目的として開業された鉄道会社も登場した。競合する鉄道会社間（国鉄を含む）では正月の参詣客を誘引するために宣伝合戦とサービス競争が行われた。当初は鉄道による有名社寺への「恵方詣り」の利便性が押し出されたが、年ごとに変わる恵方に対して「初詣」という言葉がよく使われるようになり、大正時代以降は「初詣」が主に使用されるようになった。

関西では、もともと恵方詣りは元日よりも節分に盛んに行われていた。鉄道会社の集客競争の中で正月参詣にも恵方が持ち込まれるようになり、関西の人々は節分のほかに元日にも恵方詣りを行うようになった。しかしながら、鉄道会社が熾烈な競争の中で自社沿線の神社仏閣をめぐめるに恵方であると宣伝し始めたため、やがて恵方の意味は埋没した。大正末期以降、関西では方角にこだわらない「初詣」が正月行事の代表として定着した。

### 風習

社寺へ参拝を行って、社務所でお守り、破魔矢、風車、熊手などを受けたり、絵馬に願い事や目標を書いたりして、今年一年がよい年である

ように祈る。昨年のお守りや破魔矢などは、このときに社寺に納めて焼いてもらう。また神社によっては境内で甘酒や神酒などが振るまわれる。ルール

初詣の対象は神社・寺院のいずれでもかまわないとしている。これは明治時代初期に神仏分離が行われる前は、神道と大乘仏教ならびに祖霊信仰が一体化した神仏習合による信仰が一般化していたためである。つまり、初詣に限らず社寺への参詣に神道・仏教の区別はあまり無いとされてきたことの名残りである。

初詣には、定められた規定は特に無い。『デジタル大辞泉』の定義では年明け最初の参拝を初詣としている（時期や期間については触れていない）。「年が明けてから初めて神社や寺院などに参拝する行事」であるため、年内ならいつ参拝に行ってもその参拝が年内最初の参拝であれば「初詣」となる場合もある。

一般的には、正月三が日に参拝するのを初詣といっているが、1月中旬に参拝も初詣とする考え方もある。また、回数に関する規定も無い。多数の「j」神社仏閣に参詣すれば色々な利益があるという説もあり、その場合神社仏閣を特に問わない。例えば西日本の一部地域の様に「三社参り」などと言って正月三が日の内に複数（多くは3社程度）の神社に参拝するのが習慣となっている地域もある。宗派による考え方の違いが大きい。

### 年齢層

初詣を行う年齢層にはバラつきがあり、ノリッツが2006年12月に行ったインターネット上のアンケートでは、初詣に毎年行くと答えた年齢層の割合は70歳以上が59%だったのに対し、20歳代では44%に留まっている。さらに20歳未満では75%がほとんど行かないと回答している。

### 参拝者数の統計

2019年の初詣の参拝者数上位10社寺は次のとおりである。

順位	社寺	所在地	参拝者数
1	明治神宮	東京	約318万人
2	成田山新勝寺	千葉	約311万人
3	川崎大師	神奈川	約308万人
4	浅草寺	東京	約293万人
5	伏見稲荷大社	京都	約250万人
6	鶴岡八幡宮	神奈川	約250万人
7	住吉大社	大阪	約234万人
8	熱田神宮	愛知	約230万人
9	氷川神社	埼玉	約210万人
10	大宰府天満宮	福岡	約200万人

## 高齢者相談センター どりいむだより

高齢者相談センターどりいむ  
二原市之町6丁目31番号  
電話 61-4410

新年、あけましておめでとうございます。本年も『どりいむだより』を通じて、皆様が健康で明るく楽しい毎日をお過ごしただけけるような情報を発信いたします。

### 高齢者とペットについて

「飼えなくなりそう…」と思ったら早めに動物愛護センターに相談を!!!

### 動物愛護センターとは

犬猫の譲渡やしつけ方教室（愛護業務）、犬猫の引き取り（管理業務）、放浪犬の保護（狂犬病予防業務）等を行う施設です。



原則…動物愛護センターでは一時預かりはできません。  
↓数時間、数日預けたい時はペットホテルを利用しましょう!

### ①飼いが主が死亡した場合

↓動物は相続の対象になる。もし飼えないなら愛護センターへ相談。  
※無人の家に放置すると「遺棄罪」の可能性あり。

### ②飼いがお世話できない（入院・転居）場合

意思確認できる↓愛護センターから新たな飼いが主探しの助言、引き取り等を行う。  
意思確認ができない↓親族から愛護センターへ相談する。

ペットは大切な家族です。不安なこと、困ったこと等あれば早めに相談しましょう。

動物愛護センター  
電話：0848（60）8511

### 徳川家康から学ぶ「健康長寿の秘訣」

昨年大河ドラマ『どうする家康』で風の松本潤さんが演じられた徳川家康。彼は健康長寿で天下を取ったと言っても過言ではなく、75歳という当時としてはかなりの長命を保ちました。そんな徳川家康から健康長寿の秘訣を学びましょう。

### 一、食事は粗食で ぜいたくはしない

家康は、大名や天下人になっても庶民と同じような食事で、麦飯と豆味噌を使った味噌汁に漬物という質素なものだったそうです。

（家康の故郷・三河は豆味噌が特産品で、味噌玉にして携帯し戦場でも食べていました。）

麦にはビタミンBや食物繊維、豆味噌には乳酸菌やタンパク質、インフラボンなどの抗酸化物質が含まれており、家康の健康長寿の源になりました。

また、よく噛んで食べる、腹八分目、魚は火を通して食べる、お酒は控えるにするなど、食生活にはかなり気を付けていたそうです。

### 一、生涯「鷹狩り」を楽しむ 適度を運動



「鷹狩り」とは、鷹を使って獲物を狩ること。

獲物を探して野山を歩き回るので足腰が鍛えられます。また、鷹狩りで狩った動物は味噌汁の具材にして食べていたそうです。

その他、武士なので乗馬、剣術、弓術、水泳などもしていました。

### 一、薬を学び自ら調合して服用していた



中国の医学書を戦場でも読むほど勉強熱心だった家康。自ら漢方薬を調合して服用していたそうです。でも、自分の知識を過信してはいけません。主治医とよく相談しましょう!

（家康の死因「胃がん」を突き止めた医師・片山宗哲は家康の怒りに触れ、島流しになりました…。）

### 一、お香を焚いてリラックス



戦国武将は、お香を焚いて気分を落ち着かせていました。

家康には特にこだわりがあり、沈香（じんこう）という東南アジア産の香木を好み、外国から取り寄せていました。



皆もわしの健康法を参考にし、今年も一年元気に過ごされよ。高齢者相談センターどりいむでは、高齢者の日常生活上のあらゆる相談に応じておる。相談は無料ゆえ、気軽に相談するのじゃ!